

やすらぎ

平成26年3月発行



医療法人社団 芙蓉会
ふよう病院
芙蓉ミオ・ファミリア町田
グループホームあおぞら
千葉芙蓉病院
きゃらの樹ケアセンター

ふよう病院

新人職員研修会

- ・開催日
平成26年3月7日（金）
- ・対象職員
平成25年1月1日～平成25年11月30日までに入職された職員36名
- ・内容
院長・看護部長・理事長挨拶、幹部紹介（一部）、質疑応答

新人職員が参加し、新人職員研修会を開催致しました。

院長：当院における入院相談や地域の病院との連携についての説明と、患者様・利用者様と接する際の接遇や考え方、気持ち等についての指導がありました。

看護部長：新人職員にも「できるだけ長く働いてほしい。自分の病院を好きになってほしい」などの話がありました。

理事長：当会 創業者の経歴と当院開設から現在に至るまでの経緯の説明が簡潔にあり、創業からの理念である『老人は国の宝』についての説明がありました。

この新人職員研修会を通し、新人職員の方たちは芙蓉会について理解できたのではないかと



感じています。新人職員の方たちには、少しでも長く勤務し、より一層の活躍を期待しています。

- ・次回開催予定
平成26年7月頃予定
- ・対象職員
平成25年12月1日から平成25年5月末日入職の方

2月院内職員研修会『接遇ロールプレイング』

当院の接遇向上委員会では、年に2回「ロールプレイング勉強会」を実施しております。接遇は委員だけが頑張っても向上はありません。職員一人ひとりが接遇を意識し、当たり前ができるようになっていくためにも訓練は大切です。年に2回ですが、このような機会を設けとっさの場面でもさっと対応できるように努力しております。

研修会の流れ

病院内で想定される様々な場面を設定して、ショートストーリーにしたものを職員が演じ、演技後グループディスカッションと意見発表になります。演技は場面、配役、台詞、全て職員が考えます。その過程でそれぞれの人の立場になって考えることになり、接遇に繋がっていきます。また、その演技を見る側は自分の病棟だったら、自分だったら、また自分が患者様だったら、と想像し意見を述べ合うことで接遇の訓練になるのです。今回は1病棟とミオ・ファミリアによる発表となりました。

発表の内容

- ・C棟3階
場面設定：色の付いた靴下を履いて病棟に出勤してきた時
- ・ミオファミリア
場面設定：トイレ介助の声掛けとその介助中にコールが来た場合の対応について



発表に対する意見

C棟3階に対して

- ・注意する側の言葉も受け入れやすく優しい声掛けだったので良かった
- ・ご家族から見られていることを意識する
- ・身だしなみのロールプレイングで見ていた職員が意識することができたのではないかとミオファミリアに対して

- ・2人のご入居者を待たせずに、説明して2人目の方の様子を見に行った方が良かったのでは？
- ・コールを受けた時に「すぐ行きます」よりお待ちいただくことを伝えた方がいい。できれば用件を聞いて緊急性があるかどうかを判断した方が良い。
- ・2人目のコール対応の時、すぐに行ける状況ではなかったのに「すぐ行きます」と言ったことで、ご入居者が遅かったと感じたのではないかと。

総評

どのような場面に遭遇しても誰もが同じ態度、言葉掛けがスムーズにできるようになれることが接遇です。全ての部署の職員ができるよう研修会を重ねていきます。

ひな祭り

2月にご入居者と飾った雛人形。飾り終わるといつもの食堂がパッと明るくなり春めきました。

3月3日の雛祭りの日には、今年もきれいに盛り付けられた行事食をお昼にいただき、午後

は雛飾りの前で記念写真を撮りました。

女性のご入居者には薄化粧をしていただき、スタッフが作成した衣装(?)を着けて写真を撮りました。カメラの前での、はにかむようなやさしい笑顔を見るとスタッフからも笑みがこぼれます。記念写真の後は、おいしいおやつを頂きながら雛人形や雛祭りの話で、話に花が咲きました。



手作りサンドイッチ

3月中旬の昼食は、手作りサンドイッチでした。

柔らかいサンドイッチパンと数種類の美味しそうな具材が各テーブルに配られ、ご入居者がそれぞれ、お好みのサンドイッチを作り、召し上がっていただきました。デザートのみっ赤な苺がテーブルに彩りを添え、春の訪れを感じました。



玄関から鬼が…

鬼が日にちを間違えたのか…？2月5日に突然鬼が現れました。鬼を見た瞬間から、ご入居者には鬼の正体がばれていて「お兄ちゃん！」の一言。鬼になりきっていた職員もおもわず笑



ってしまいました。ご入居者も豆をまくより、口に入る方が多かったようでした。職員は40歳、50歳になっても、もっと歳を重ねても、ご入居者から「お兄ちゃん、お姉ちゃん」と呼ばれ、ご入居者から日々元気をいただいています。「お互い様」の関係がとても温かいです。



癒されるひととき…

ご近所に住んでいるご入居者のご家族が、散歩の途中に立ち寄って下さいます。ご入居者がワンちゃんにお水を持ってきてくださり「ペロペロ！」と一気にゴックン！その後はご入居者お一人おひとりが「いい子だね、朝ご飯は食べたの？」と言って背中を撫で、ワンちゃんはリラックスモード。そんな様子を見ていると、背中を撫でているご入居者もリラックス。ここでも「お互い様」の関係です。



男子厨房に入る…

愛情込めて夕食作り！！おいしく作る事ができました☆



節分

2月4日に節分の会を行いました。鬼や年男、年女の衣装に着替えた職員が各病室をまわります。「鬼は～外、福は～内」の掛け声に、普段



は感情を表に出さない患者様が泣いたり笑ったりと、普段は見ることのできない表情を見ることができ、新たな発見がたくさんありました。何よりも患者様にとって心に残る会になったのではないかと思います。



ひな祭り

3月1日、少し早いひな祭り行事を行いました。例年同様、職員がお雛様、お内裏様の衣装を着て各病室を廻りました。1時間足らずでしたが、患者様に笑顔をお届けことができ、触れ合えたことに喜びを感じました。

3月3日のひな祭りは、女の子の無事な成長・良縁・幸せを願う行事であり、雛人形や桃の花を飾り、雛あられやハマグリのお吸い物をいただくことは良く知られています。

ひな祭りは古代中国から伝わってきたとも言われ、桃の節句とも呼ばれています。桃の花は魔よけの力があると考えられていたそうです。ちらし寿司に入った海老は腰が曲がっていることから長生きにつながり、他にもいろいろな具が混ざり合っていることから、将来食べ物に困りませんようにという願いもこめられているとか。

こうして改めてひな祭りについて理解を深めると、より一層子供の成長を願って楽しいひな祭りにしなくては、という気持ちになりました。



「食べやすい食事づくり」研究 「鶏つくね丼」

材料（2人分）

鶏もも挽肉 120g

たまねぎ 40g

しょうゆ 大1

酒 大1

A：みりん 大1

片栗粉 大1

パン粉 大2

しょうゆ 大1

みりん 大1

B：酒 大3

砂糖 小1

酢 大1

かいわれ菜、ゆで卵、青のり 適量

作り方

1. 鶏もも挽肉、荒みじん切りにした玉ねぎ、Aの調味料をボールに入れてよくこねる。

2. 小判型に丸め、油をひいたフライパンで揚げ目を付ける。
3. Bの調味料を合わせて鍋で煮詰める。
4. 御飯に盛り付け、付け合せでかいわれ、ゆで卵、青のりをのせる。

工夫した点

春の時期なので新たまねぎを使った料理を考えました。たまねぎを荒みじん切りにして食感を残しました。



千葉芙蓉病院食事サービス部

ケアセンターの節分行事

きゃらの樹でも豆まきを行いました。恒例の赤鬼、青鬼（共に男性職員）が各フロアーをま

わり、待ち構えているご利用者の豆攻撃で鬼が退散する図式です。中には鬼に当てる前に武器（豆）を食べてしまい丸腰で対峙する「ツワモノ」もいらっしゃったようです。

